



令和3年1月22日

報道機関 各位

新型コロナウイルス感染症への免疫を知るための 中和抗体評価法の開発

富山大学学術研究部医学系 微生物学講座・感染症学講座・免疫学講座、富山県衛生研究所ウイルス部、国立感染症研究所の研究グループは、新型コロナウイルス感染症への免疫獲得状況を知る中和抗体の評価法を確立しました。この成果は、2021年1月12日に学術誌 *Virology Journal* に掲載されました。

中和抗体には、ウイルスが細胞に入り込みにくくするはたらきがあり、この抗体を持つ人は感染しにくい可能性があります。新型コロナウイルス感染症での免疫について、令和2年4月以降、富山大学附属病院（総合感染症センター）の患者さんの協力を得て、発症した人で中和抗体を確認しました。また、国内で初めて全血（細胞成分を除かない状態の血液）でも評価できました。

本研究成果は、集団免疫の評価や、これから出てくるワクチンの有効性評価にもつながるもので、引き続き研究に取り組むことでより改良していく予定です。

※ 本研究は日本医療研究開発機構（AMED）のウイルス等感染症対策技術開発事業支援を受けています。

事業名：ウイルス等感染症対策技術開発事業（基礎研究支援）

研究開発課題名：「高病原性ウイルスパンデミックに迅速対応可能なハイスループット中和抗体検査法の開発」

研究体制： 研究代表者 富山大学学術研究部医学系微生物学講座 教授 森永芳智
分担研究者 富山大学学術研究部医学系感染症学講座 教授 山本善裕
分担研究者 富山県衛生研究所ウイルス部 部長 谷 英樹

【本件に関する問い合わせ先】

富山大学学術研究部医学系 微生物学講座 森永芳智
TEL. 076-434-7256